

世界金融危機と日本の金融システム

鯉渕賢・櫻川昌哉・原田喜美枝・星岳雄・細野薫

〈要旨〉

米国サブプライムローン問題は世界経済に深刻な影響を与えながら急速に拡散したが、日本の金融部門は大きな損失を免れた。本稿では世界金融危機時に金融システムの安定性に貢献した5つの要因（円高期待、金融監督体制の改善、証券化商品への投資と資金調達構造、住宅バブルの不在、日本銀行の潤沢な流動性供給）を示す。危機後の政策対応が金融システムに悪影響を与えていることを指摘し、世界金融危機における日本の経験からの政策的教訓を導く。